第74回中小企業団体全国大会 in 長崎

全国中小企業団体中央会・長崎県中小企業団体中央会は、11月10日(木)、長崎県長崎市・出島メッセにおいて、第74回中小企業団体全国大会を開催。全国から中小企業団体の代表者約2,000名(本県からは23名)が参集した。

大会は、全国中央会森洋会長の開会挨拶で幕を開け、小林洋司厚生労働審議官らの祝辞が述べられるとともに、西村康稔経済産業大臣、野村哲郎農林水産大臣のビデオメッセージも放映された。

開会挨拶をする森会長

その後、議案審議に入り、長崎県中央会石丸忠重会長が議長となり、中小企業・小規模事業者等の経営強靭化・成長促進支援等の拡充、中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備につき14項目を上程、満場一致で採択となった。

大会決議14項目

Ⅰ.中小企業・小規模事業者等の経営強靭化・成長促進支援等の拡充

1.現下の危機的課題の克服に向けた経済再生支援策の拡充強化
2.中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた支援強化
3.中小企業団体中央会の指導体制・支援機能の抜本的強化、中小企業組合制度の拡充・改善
4.地域経済の好循環の推進、地域課題の解決

Ⅱ.中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1.中小企業の人材育成・確保・定着対策
2.新型コロナウイルス感染症の影響長期化に配慮した社会保障制度の見直し
3.外国人技能実習制度と特定技能の見直し

Ⅲ.中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1.中小企業金融施策の拡充
2.中小企業・組合税制の拡充
3.中小製造業等の持続的発展の推進
4.エネルギー・環境対応への支援の拡充
5.卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6.サービス業支援の強化・拡充
7.官公需対策の強力な推進

次に岡山県中央会畫田眞三会長が「総合経済対策の早期執行と地域を支える中小企業の持続的発展に向けた活力強化」と題して意見発表を行い、本大会の意義を内外に表明するため、長崎県中央会青年部山下顕伸会長が大会宣言を高らかに宣した。

続いて表彰式が行われ、優良組合40組合、組合功労者74名、中央会優秀事務局専従者27名が受賞の栄に浴した。本県からは、優良組合として群馬県食肉事業協同組合連合会（征矢野茂理事長、写真左）が、組合功労者として手島昇一氏（群馬県税理士協同組合、写真右）がそれぞれ受賞した。

征矢野氏（優良組合）

手島氏（組合功労者）

次期大会は、令和５年10月11日（水）、宮城県において開催することが発表され、大会旗が森会長から宮城県中央会佐藤勘三郎会長へ継承された。

最後に、中小企業基盤整備機構豊永厚志理事長の音頭による万歳三唱が行われ、長崎県中央会橘髙克和副会長による挨拶で閉会となった。

継承される大会旗

万歳三唱を行う本県からの参加者

中央会コース

本会では、全国大会に併せて２泊３日の中央会コースを設定した。参加者は17名。

11月９日に群馬県を出発。初日はグラバー園を訪問しグラバー邸等の国指定重要文化財を視察後、史跡料亭「花月」にて長崎伝統の卓袱（しっぽく）料理を堪能した。翌10日は世界文化遺産の「端島（通称：軍艦島）」に上陸し、炭鉱の栄枯盛衰の歴史に触れた後、全国大会に参加し、日本夜景遺産に選ばれた佐世保市街地が一望できる「弓張の丘ホテル」に宿泊。最終日は伊万里焼の秘窯の里「大川内山」を訪れ、400年の歴史を持つ窯元が立ち並ぶ街並みを散策し、帰路についた。

幕末・明治に社交場として利用された
史跡料亭『花月』で卓袱料理を堪能

炭鉱の街として栄えた軍艦島に上陸

伊万里焼の窯元が集まる大川内山を散策

理事会／時局講演会を開催

10月24日、前橋市・前橋商工会議所会館において、理事会を開催した。議題は、令和４年度上期事業並びに収支概況、上期新規加入者の承認並びに脱退会員の報告、今後の主要行事日程の３議案。まず、実地指導件数について、昨年度は、断続的なコロナ感染者の増加により組合等への訪問自粛を余儀なくされたが、今期は比較的落ち着いていたため、件数増加に繋がった。また、コロナ禍で中止が続いていた「組合代表者懇談会」を３年ぶりに開催し、各業界が抱える課題や県等への要望について、活発な意見交換が行われたと報告した。

議長を務める吉田会長

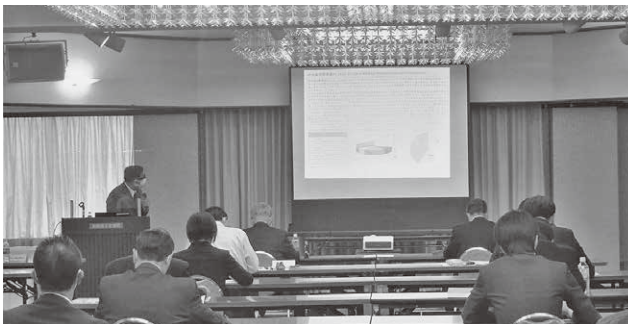
さらに、関東甲信越静ブロック中央会会議が、11年ぶりに本県当番による開催となり、全国中央会並びに１都10県の会長が一堂に会し、全国大会提出要望について審議した後、関東ブロックとしての要望を全国中央会に提出したと説明した。

その他各種補助事業においては、SDGsなど環境経営に対する支援、組合青年部や企業の総務・営業担当者等に対する人材育成事業、合同企業説明会、消費税インボイス制度の研修会等の実施状況等を例示。また、５月に開催した通常総会に併せて、創立65周年記念表彰式を開催したと報告した。

今後の主要事業日程については、本会新年会や来年の全国大会が宮城県仙台市で開催されると説明。ＤＸやクラウドファンディングをテーマとした研修会も予定していると紹介し、参加を呼び掛けた。

理事会終了後、「ロシアのウクライナ侵略と今後の国際情勢」をテーマに、東和銀行名誉顧問吉永國光氏による時局講演会を開催。吉永氏は、大蔵省入省後、欧州復興開発銀行で日本代表理事を務めた経験などに基づき、国際情勢を語った。参加者は新聞等には載らない貴重な話に耳を傾けていた。

講師の吉永氏



経験から得た情報を披露